

PLATINUM Top 1%

2020
ecovadis
Sustainability
Rating

イグスンド・ペーパーボードのスウェーデン工場は、エコヴァディス社による65,000社以上の評価の中でもトップレベルの成績をあげた。同工場が獲得したプラチナレベルは、全評価対象企業の上位1%に相当する。

Invercote（インバーコート）、プラチナ評価を獲得

業界をリードするペーパーボードブランドInvercote（インバーコート）の生産拠点であるスウェーデンのイグスンドにあるイグスンド・ペーパーボードの工場は、このたび、国際評価機関のエコヴァディス社によりプラチナ評価を授与されました。同社では各企業のCSR（企業の社会的責任）達成度を評価しており、160か国で200種以上の業種にわたり65,000件以上を審査してきました。

2020年、エコヴァディス社はメダル授与の基準を改訂し、新たに「プラチナメダル」を導入。これは、同社のネットワークにおいて最も優れたスコアを達成した企業に与えられる特別なメダルです。スウェーデンのイグスンド工場が獲得したプラチナレベルに相当する企業は、全評価対象企業の上位1%です。

「このたびは、当社がCSRに取り組むうえで堅実な体制が整っていることを認識していただき、非常に誇りに思います。さらに重要なのは、これがお客様にどんな意味をもたらすか、ということです。優れた製品品質に加えて、製品の品質に見合ったCSR対策が施されているという事実により、より大きな信頼感を抱いていただけることでしょう」と、イグスンド・ペーパーボードでサステナビリティ部門を統括するヨハン・グラノース（Johan Granås）氏は述べています。

イグスンド工場は、世界で最も投資の行き届いた板紙工場の一つです。最先端の設備を備えていますが、それでもつねに向上を目指しています。

同氏は、「機械設備がどんなに近代적であっても、最終的な意思決定は常に人が行います。当社では、オペレーターに対して環境に配慮した目標の導入を始め、

生産上での日々の意思決定には環境への影響があることを認識してもらうように努めました。一例として、これにより化石燃料の使用量を1年で50%近く削減することができました」と語っています。

「気候変動との戦いから生じた当社の革新的なイニシアチブに、感銘を受けるとともに誇りに思っています」とグラノース氏は締めくくりました。

スウェーデンの林業グループホルメン社傘下のイグスンド・ペーパーボードは、過去10年間、さまざまなサステナビリティ指標において「世界で最もサステナブルな企業100社」に数回ランクインしています。



「気候変動との戦いから生じた当社の革新的なイニシアチブに、感銘を受けるとともに誇りに思っています」と語る、イグスンド・ペーパーボードのサステナビリティ責任者、ヨハン・グラノース氏。